

ステークホルダー・エンゲージメント

国内外の各事業所・グループ会社において、従業員一人ひとりが「良き企業市民」としてステークホルダーと協同でCSRを推進しています。

社会貢献活動

川崎フロンターレSDGsフードドライブ協賛

川崎フロンターレは、ホームゲームにおいて毎試合フードドライブを実施しています。フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄っていただき、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。川崎フロンターレSDGsフードドライブで集まった食品は、フードバンクかわさき様（川崎市多摩区）を通じて地域の福祉施設や食を必要としている方に配布されています。当社はこのような取り組みに共感し、2023シーズンより川崎フロンターレSDGsフードドライブに協賛しています。

また、活動の一環として、富士通フロンテック社内にも回収ボックスを設置し、社員の家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄って寄贈しています。



川崎フロンターレSDGsフードドライブのブース



富士通フロンテック社内の回収ボックス

川崎競輪場を中心とした地域活性化活動（TEL：トータリゼータエンジニアリング株式会社）

TELは、川崎市様より川崎競輪場の競輪事務を受託しており「競輪場を中心とした地域活性化」をテーマに市民に親しまれ、地域経済に資する競輪場を目指しています。

当初、川崎競輪場の西エリアはあまり人がいない場所でしたが、その場所に大型ビジョンを設置して、近隣の市民も既存の競輪ファンも楽しめる場所として、様々なイベントを川崎区や川崎駅前の商店街と連携して行っています。スケボー教室も好評です。



大型ビジョン活用による地域イベントへの貢献

コミュニケーション

新入社員へのSDGs教育

当社グループでは、全従業員が対象の環境eラーニングを毎年行うなど、従業員へのSDGsに関する意識啓発に注力しています。

2024年度は前年度に引き続き、従業員が入社時からSDGsを自分事として捉えて業務に取り組めるよう、新入社員研修のカリキュラムの一つとして、SDGsに関する教育を実施しました。

当教育では、当社のSDGs担当が講師を務め、オリジナル教材を用いてSDGsの概要から当社グループの活動とSDGsとのかかわりまで説明。最後に、各々の配属先において、自らの業務を通じていかにSDGsへ貢献していくか考え実践することの重要性を語り、締め括りました。



新入社員研修の様子

環境月間

当社グループでは毎年、環境月間（6月）の期間中、オリジナルポスターの制作・掲示をはじめ、各事業所における周辺の清掃活動や花植ボランティアなどを開催し、従業員の環境意識向上を図っています。2024年度の環境月間も、多くの従業員が各事業所で行われたイベントに参加し盛り上がりしました。



オリジナルポスター



花植ボランティア（新潟工場）